

アトラクション

上甕村民歌と中津はんや隊



上甕中 2・3 年と中津小 1 年生による上甕村民歌と中津はんや隊による「ジュニアはんや」を披露しました。短い時間での練習でしたが、本番では、参加した先生方の感動を呼ぶ素晴らしい演奏・演技でした。

全体会 I

上甕中学校区の小中一貫教育の概要説明



本校区で取り組んでいる 2 つの視点（「個に応じた指導・支援の在り方」「言語活動の充実に向けた論理的思考モデルの活用」）の概要の説明と研究授業を参観する際の視点について説明しました。

研究授業 I（個に応じた指導支援の在り方）

英語活動（小学校 3・4 年生）



「I like〜」「Do you like 〜?」の言い回しを使って、自分の好きなものを伝える学習をしました。歌を歌ったり、インタビューゲームをしたりして楽しく学習しました。

数学（中学2年生）



「連立方程式」

本時は、日常の生活の中から連立方程式の文章題をつくることを学習課題とし、日常にある具体物や長さや重さなどを活用した文章題をつくる学習を行いました。例題を参考にしながら、お互いの意見を述べ合ったりしたあと、t 食った問題で互いに確かめ合う学習を行い、学びを深めました。

研究授業Ⅱ（言語活動のための論理的思考モデル活用）

ふるさと・コミュニケーション科（小学5・6年生、中学1年生）



「上甕と福祉」について地域の方々にインタビューするとともに、自分たちの考えをまとめたり、伝え合ったりする学習を行いました。インタビューを通して多角的な視野から高齢者との関わり方や「ふるさとのために何ができるか」を考えました。中学生が小学生をリードし、様々な意見が交わされました。

国語（中学3年生）



「言葉を磨く」

「俳句の魅力」とは何かを想起すること、作品をより魅力的にする技法を確認した後、自分やグループ内で俳句を詠み味わったり作句を行ったりする中で効果的に表現すること、作品をより魅力的にするものを一言で表現することとおして、表現することや作品の意図を想像することの楽しさを感じられる学習でした。

全体会Ⅱ

上甕中学校区の小中一貫教育についての説明

小中一貫教育の研究の成果と課題についての説明

及び授業研究、質疑応答



本校区の取組の特色や実践報告などを行い、参加された先生方から、これまでの実践や研究授業についての質疑応答が行われました。今回の研究公開では分科会を設定し、多くの激励と今後の示唆をいただきました。本当にありがとうございました。今後も、上甕中学校区の児童生徒のために、職員が研鑽を重ね、小学校・中学校で連携を強固にし、指導に邁進していく所存です。